

新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン

～安全にスポーツ吹矢をお楽しみいただく為に～

一般社団法人銀座スポーツ吹矢倶楽部
事務局

感染防止のため遵守すべき事項を適切な場所(受付等)に掲示し、参加者に周知する。なお、新型コロナウイルス感染症の新たな知見、スポーツ吹矢例会におけるコロナ対策については随時更新を行う。

●競技会・練習会、会場への移動時

- 1.公共交通機関使用の場合は各運営会社の指示に従い、マスクの着用をする。目的地到着後は速やかに手指の洗浄・消毒、うがい等の励行を心掛ける。
- 2.自家用車を使つての移動を行う際は、多人数での乗車は避ける。カーエアコンは外気循環に設定し、マスクを着用する。車内での飲食は行わない。
- 3.主催者は通勤ラッシュ時の移動を避けられるように、競技会・練習会の開始時間、終了時間を設定することが望ましい。

●競技前の対応

- 1.参加者が次の事項に該当する場合は、参加させない。
 - ①体調不良(例:咳・咽頭痛などの症状がある場合)。
 - ②平熱以上の発熱(目安として37度3分)がある。
 - ③同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる。
 - ④過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触があった。
- 2.マスクを持参する(競技時以外はマスクを着用すること)。
- 3.こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 4.他の参加者との距離(できるだけ2m以上)を確保する。
- 5.大きな声で会話や応援等をしない。
- 6.感染防止のために主催者が決めた措置の遵守をはじめ主催者の指示に従う。
- 7.競技や練習会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に報告する。

●競技会、練習会時の受付

- 1.受付には手指消毒剤を用意し、非接触型体温計による検温を実施する。
- 2.発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛け

る。

- 3.参加者には距離をおいて並んでもらう。
- 4.受付を行うスタッフは、必ずマスクを着用する。
- 5.参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める。
 - ①氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)。
 - ②利用当日の検温。
 - ③利用前 5 日間における以下の事項の有無。
 - (1)平熱を超える発熱(おおむね 37 度 3 分以上)。
 - (2)咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状。
 - (3)だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)。
 - (4)嗅覚や味覚の異常。
 - (5)新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無。
 - (6)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるか。
 - (7)過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触があるか。

●競技会、練習会における主催者準備事項

- 1.手洗い場所の確認。
 - ①手洗い場に石鹸(ポンプ型または噴霧型が望ましい)はあるか。
 - ②手を拭くペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意する。
 - ③手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を使用する。
- 2.更衣室、休憩・待機スペースの確認。
 - ①広さにはゆとりをもたせ、他の参会者と密になることを避けること。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する。
 - ②ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等については、こまめに消毒する。
 - ③換気扇を常に回す、窓をあける等、十分な換気を行う。
 - ④観客同士が密な状態とならないよう、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとる。
 - ⑤ゴミは各自で責任をもって回収するよう周知する。
- 3.競技会、練習会場施設の利用ルールの確認。
 - ①会場となる施設の新型コロナウイルス感染症対策を確認し順守する。

●参加者

- 1.主催者が決めた感染防止のための措置の遵守、指示に従うこと。
- 2.競技時以外はマスクを着用する。
- 3.競技会・練習会終了後、2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者に報告する。
- 4.競技時以外は感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離をとる。

5. タオルの共用はしない。
6. 飲食については指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面は避ける。
7. マスクをしていても、大きな声で会話や応援をしない。

●競技時

1. 矢を吹いた後、マスクを着用してから矢抜き、クリーニング等を行う。
2. 同じ人が同局的を使い、的の消毒はこまめに行う。
3. 競技者は同じスタートラインに立ち、その間隔は 2メートル以上、距離が違う場合は的の位置で調整することが望ましい。
3. 筒、的の消毒はこまめに行う。
4. 矢抜き、筒立用具の共用は行わない。
5. 採点は、競技者、審判員、記録者の三者がマスクを着用して行う。

●発生時

1. 万が一感染が発生した場合に備え、参加当日に参加者より提出を求めた書面は1ヵ月間保管しておくこと。
2. 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は、実施施設、保健所等へ報告を行う。

●増補

コロナウィルスワクチンの接種は進んでいますが、新型コロナウイルスの感染状況は油断できない状況が続いています。感染力の高い変異株が蔓延し、エアロゾル(呼気に混ざる極めて微小な水滴)による感染の拡大も疑われています。幸いなことにスポーツ吹矢を由来とするクラスターの発生は起きていませんが、改めて「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を増補いたしましたので参考にしてください。

- 1、換気を徹底して行ってください。エアロゾル対策の一番の方法は外気との換気となります。可能な限り窓を開け新鮮な空気を取り込むようにしてください。状況に応じて送風機・空気清浄機の使用も検討してください。

2、飛沫の遮断能力が最も高いとされる不織布マスクの使用を推奨します。

マスクは正しく着用する事によって、飛沫の拡散を防ぎます。

◆正しいマスクの着用方法(厚生労働省 HP より)

- ①鼻と口の両方を確実に覆う
- ②ゴムひもを耳にかける
- ③隙間ができないよう鼻まで覆う

正しいマスクの着用



- 1 鼻と口の両方を確実に覆う
- 2 ゴムひもを耳にかける
- 3 隙間がないよう鼻まで覆う

3、手洗いを励行しましょう。下図(厚生労働省 HP より)の様にハンドソープを使用し手を洗った場合(「ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ」を2セット)、ウイルスを1/100万まで減らすことができます。



4、ワクチンは2回の接種が完了すると、感染・重症化・入院リスクの軽減効果をもたらしますが、完全に感染を防ぐものではありません。安心・安全にスポーツ吹矢を楽しむ為に、感染対策の徹底を行ってください。

(2021年9月改定)